

板野中学校 同和教育だより

MY SKY No. 17

マイ・スカイ

2000年12月19日(毎月第1・第3火曜日きまぐれ)発行

発行者

編集・文責
駐吉成正士
副次本知己

あれからもう2年も経^たつのか……。もう何年も前のことのように思えるのに……。
あの頃^{ころ}もそうで、今もそうなのですが、私は部落問題についてこう考えています。

「自分が部落差別を『受けるかもしれない』立場であれば、

そのことをきちんと知ったうえで、これからの自分の人生を考えた方がいい」

部落出身ということを知らずに人生を送^{じんせい}って、部落差別と出会うことなく、その人なりに
幸せな人生が歩^{あゆ}めれば、それはそれでいいのかもしれませんが。でも、必ずしもそうなるとは
限りません。誰からも立場を知らされず、部落問題学習も自分のこととして考えられず、人
生の大きな節目^{ふしめ}になって初めて自分が部落出身であるということを知って、大きなショック
を受けることだってあるのです。

かといって、「もし部落差別に出会ったら……」といった、消^{しょう}極^{きよく}的な考えで部落問題学習
をしてほしいとも思いません。私はただ、人として当^あたり前^{まえ}のことができるようになるため
にいろんなことを知っておいてほしいし、自分もそうありたいと願うだけなんです。

2年前、一人の生徒に「部落差別を受けるかもしれない立場である」ということを初めて
伝えたことがありました。その後、その生徒のお父さんと2度お話をすることがありました。

1度目は、お父さんの豊^{ゆた}かな人生経験^{けいけん}とともに、親としての子どもに対する深い思いなど、
たくさんのことを長い時間にわたって教えてもらいました。

2度目は、大晦日^{おおみそか}の12月31日でした。その時も、本当にたくさんのことを教えてもら
いました。その時教えてもらった中でも、最後に教えてもらったことは特に心に残っている
ので、ぜひみなさんに紹^{しょう}介^{かい}しておきたいと思います。

**「先生、『ワサビの花よりハスの花』ですよ。この意味分かりますか？ ワサビの花はきれい
な清^{せいりゅう}流^{りゅう}の中でないと花を咲^さかせませんけど、ハスの花はどろどろの沼^{ぬま}の中であんなきれいな
花を咲かせます。同じ人生を生きるなら、ハスの花のような生き方をしたいものです……」**

今でも忘れられないステキなお話であり、一生忘れることのない出来事でした。

さて、先に私は「『部落差別を受けるかもしれない立場である』ということを知って伝え

こんな文章があります。「太郎とジローが峠^{とうげ}を越えた。けわしい峠^{けわ}を、人間と猿が一緒に越えた。人も猿も、越えなくては生命を輝^{かがや}かすことのできない、険しい峠^{けわ}を越えた。」この文章は一番心に残った文章でもあるし、その通りだなと思える文章でした。

あの楽しかった猿まわしの歴史^{れきし}の中に、こんな話があったなんて知りませんでした。「なんで住んでいるところだけで差別されんといかんのかなあ。」と、あらためて思いました。私たちが住んでいる板野にも太鼓張り^{たいこは}という伝統技術^{でんとうぎじゆつ}があるそうです。こういった伝統技術を今に残すには、大変な苦勞があったんだろうけど、素晴らしい伝統技術^{すば}なんだからやっぱり残さないかなあと思いました。

話は全然^{ぜんぜん}変わりますが、私が小学生だった頃^{ころ}「アメ細工^{さいく}」のおじさんが年に1・2回^{きんじよ}近所に来ていました。それはそれは見事^{みごと}で、やわらかそうなアメを、あれよあれよという間にいろんな動物に仕上げていくのです。あのおじさんの指^{ゆび}は、本当に魔法^{まほう}の指でした。あのおじさんどこに行ったんだろう……。板野には来てませんでした？

話がそれましたが「猿まわし」、また見たいものです。徳島に来てくれないかなあ～！

▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼



◇「差別と差別化」さてみなさんはどう考えますか？

じんけんきょういくけいはつすいしん
人権教育啓発推進センターが出している「アイユ」という冊子に、ユニークな記事が出ていたのをご覧になってください。

記者の眼

差別と差別化

若宮 啓文

果たして「差別化」という言葉がいつ生まれたのか、定かには知らないが、せいぜい十数年前のことには違いない。

「我が社の新製品開発にあたっては、他社の製品とやかに差別化を図るが、最大のポイントであります」

といった具合に、いまではしばしば、しかも堂々と使われている。差別化ができれば大成功で、できなければ失敗。差別化とは求めるべきプラスの価値であり、勝利の秘訣であるかのようにだ。

おいおい、ちよつと待つてほしい。「差別はいけないこと」なのに、「化」がつけば「よいこと」になるなんて、どこがおかしくな

いだろうか。この言葉が出てくるたびに、首をかしげてしまう。

まあ、そう目くじらを立てなさんな、「差別化」とは性能・機能の優秀さを強調する経済用語であつて、ただすべき社会的な差別とは全く別次元のこと、だから気にすることはないのさ、と経済に強い友人が私に説明してくれた。なるほど言葉の使われ方はそうなのかもしれない。

だけど……と、なお考えてしまふ。人権感覚の高まりによつて、せつかく人種差別や部落差別、男女差別などをなくそうという機運が少しずつ高まってきたときに、わざわざ「差別化」なんていう言葉を作らなくたってよいではない

か。

それに、差別と差別化は別次元の話というけれど、本当にそう言い切れるだろうか。

差別とは、他人との違いを不当に強調することによつて自分が優越感を味わうこと。だからこそ、実は多くの人々がさまざまな差別をしてほくそえんでいるのではなからうか。「他人の不幸は蜜の味」というけれど、差別化という言葉の中に、それに近い差別感が潜んでいなければ辛いだ。

「競争こそすべて」の時代が生んだ差別化の言葉。やっぱり私は使いたくない。

さてみなさん、あなたはどう思いますか。

(朝日新聞編集局長)



◆南公会堂祭り……本当にたくさんの人が来てくれ

ました。これまでで最高の参加人数でなかったかな？中学生のみなさんも、部活動などいろんな単位で参加してくれてたように思います。ありがとう！今回特に「良かったなあ」と思

えたのは、今まで板野町民でありながら、南公会堂がどこにあるのか知らなかった大人や子どもたちが、その場所を知り、そこにどんな人がいるのか知ってもらえたことかなあ。あの場所が、学習会や地域の人々の活動拠点であり、差別解消していく砦のようなものなのです。知っててくださいね！ ◆徳島ミュージカル劇団びいたあばん「チャンスーほんの少しの愛をください」……予想通り、大入り満員となりました。さくらホールが満員になることは、実はあまりないのです。それを考えると、ミュージカル人気というだけでなく、その中身もみなさんの興味にピッタリ合ったんでしょうね。こんな「本物」の舞台芸術が、地元で見られるような時代になったんですね……。いろんな芸術文化に触れる機会が多いということは、さまざまな「違い」を受け容れる機会が多いということにつながります。これはまさに、差別解消の土台となる部分です。これからもさくらホールに注目！ ◆ロバート・キャバ写真展……行ってきましたよ。といっても、子ども二人を連れていたので、じっくりと見ることはできませんでしたが……。会場内にはいろんな層の人々が、割とたくさん見ていました。やはり関心の高さは並外れているようですね。写真を見ていて思ったことですが、「この人は、戦場を通して『生きる』ということを伝えようとしているのかな……」と感じました。

12月24日までですので、お忘れなく！

20世紀さようなら！ 21世紀こんにちは！

マイスカイも20世紀最後となりました。世間では、口を開けば「20世紀、21世紀」と、騒がしいくらいですね。でも、そんなに大騒ぎすることなんですかねえ……。

西暦とは イエス＝キリストが生まれたと考えられていた年を紀元1(元)年とし、それ以前を紀元前何年、それ以降を紀元(後)何年と表す方法。

*現在では、イエス＝キリストの誕生日は紀元前4年頃と考えられている。

世紀とは 西暦の100年をひとまとめの単位とする表し方。

こういうふうに社会科の教科書には書いていました。とすれば、キリスト教徒でない人々には結局どうってことないですよ。全然違う宗教の国では、こんなに騒いでいないのかもしれない。きっとその国には、私たちが言っているような「世紀末」なんて関係ないんでしょうね！ おかしなものです。そんな互いが、一つの地球に暮らしてるんですから……。

さて、何はともあれ、お正月を迎えます。元日に、みなさんは何をしますか？ 初詣？ 寝正月？ 年始参り？ 新年パーティー？ それとも初日の出でも拝みに行く？ みなさん、考えてみ

てください。私たちは、お願いをすることは多いですが、果たしてそれと同じくらい感謝もしているのでしょうか……？そう考えると、21世紀最初の朝日を拝むなら、20世紀最後の夕陽も拝まなければいけないように思えるのです。「今年一年ありがとうございました！」

「20世紀ありがとうございました！」とね！感謝！感謝！私もみなさんに感謝しなければ
いけませんね！

みなさん！今年一年本当にお世話になりました！ありがとうございました！！

◆ 今後の目標 ◆ ◆ ◆ ★☆☆ ★★★ ☆☆☆★★★★ ☆☆☆☆☆ ★☆☆ ★

12月22日(金) 2学期終業式⇒もう幾つ寝ると…, 21世紀!?

1月9日(火) 3学期始業式⇒正月ボケをなおして登校してきてくださいね!!

